

# 『ふたたび線』プロジェクト

○骨子 日本で初めて復活するJR可部駅～新駅間を『ふたたび線』と名付け、挫折しても、失敗しても、頑張れば、再チャレンジや復活が叶う、優しい社会づくりとリンクさせ、沿線の地域振興を狙う『ふたたび線プロジェクト』に取り組む



## ○キーワード

ふたたび、よみがえり、復活、再チャレンジ、カンバック、再起、再生はげまし、やさしい社会、持続可能

こんなキーワードの中から、プロジェクト名として『ふたたび』を採用

## ○ストーリー

ふたたび線に乗車し、ふたたび神社にお参りすることで、あなたの、ふたたび(復活)が叶う。涙を拭いたハンカチを、ふたたび神社に結ぶことで、願いがかなう。

そして、再びに合わせて、二旅(ふたたび)も発信。なかなか結ばれない二人が、ここにお参りすると結ばれるという伝説も・・・もちろん東北の皆様の復興を祈念して。

## ○必要なグッズ

- ・ふたたび神社(ふたたびの宮)・・・長井伊勢社
  - ・ふたたびのお守り・おみくじ・・・長井伊勢社、両延の応援、作成女性会
  - ・ふたたび切符・・・JRと連携して発売、お守りとセット
  - ・ハンカチを結ぶくさり・・・長井伊勢社
  - ・はげます煎餅・・・上記キーワードの入った煎餅、工房村作成
  - ・その他関連グッズ・・・ふたたび飴、ふたたびラーメン
  - ・ふたたびアイス、ふたたび米、ふたたびの水、ふたたび音頭
- さまざまな、ふたたびビジネスが想定されます。

やさしい自治会長井から、優しい社会づくりをコンセプトとした、『ふたたび線プロジェクト』を発信しましょう。

○取り組み・・・まず、伊勢社をふたたびの宮として発信するため、4月上旬に、同好会有志で、ふたたびの宮の看板の設置を計画しています。同時に、マスコミや、各団体へも、プロジェクト発信していきたいと考えています。

自治会の皆様のご理解をお願い申し上げます。

発起人代表 4組 寺本克彦